

2024 年度修了奨学生からのメッセージ(抜粋)

貴団体の奨学金により、学業に専念しつつ、研究活動にも十分な時間を費やすことができました。その結果、優れた研究成果を得られ、学会で発表する機会も得ました。貴団体のご支援が私の成長の大きな原動力となりました。今後は企業において化学分野の発展に貢献できる人材を目指してまいります。

金銭面での不安を抱えることなく研究生活に集中することができ、多くの学会参加および論文執筆に励むことができました。また、交流会などを通じ、企業研究者として社会に役立つものづくりをしたいという思いをより強くもつことができました。

この3年間では、日々の研究活動、アメリカ研究留学、インターンシップなど様々な活動を通じて、高度理系人材に近づけたのではないかと自負しております。これらの経験を活かして、今後とも活躍していきます。

コロナウイルスもあり研究活動が妨げられ、不安になることが多々ありました。それでも化学人材育成プログラムの支援のおかげで気持ちの余裕が生まれ、焦らずじっくりと研究活動を続けることができました。今後は日本の化学の発展と社会への貢献の気持ちを忘れずに一層研鑽を重ねていきたいと思えます。

貴団体の奨学金は、私の研究活動を支え、専門分野での成長に欠かせないものでした。卒業後は企業での業務を通じて、研究成果や学びを社会に還元し、貴団体の理念に少しでも寄与できるよう努めてまいります。

2024 年度修了奨学生からのメッセージ(抜粋)

奨学金のご支援や企業説明会の機会をご提供いただき、誠にありがとうございました。また、交流会に参加させていただき、企業の方々と直接お話しする機会を得たことで、企業理解が深まりました。その結果、来年からお世話になる企業様とのご縁をいただくことができました。

本プログラムで、色々な企業の情報を得ることができ、大変役立ちました。また、本プログラムで、多くの人と接することができて、大変刺激になりました。

本プログラムに参加させて頂けたおかげで、博士後期課程の3年間を有意義に過ごし、学位取得に向け全力で研究活動に取り組むことが出来ました。卒業後は、社会に少しでも貢献できるように化学産業界で精進していきます。

手厚い支援のおかげで三年間金銭的な余裕を持って研究活動に臨むことができ、博士課程を修了し得る成果を挙げることができました。また、企業交流会でのご縁があり、支援企業様に内定をいただきました。就職後も3年間の研究活動で得た知識や技術を活かして社会に貢献できればと思います。

3年間に渡る研究奨励金の給付、また就職支援イベントの企画など感謝申し上げます。近年の博士学生を取り巻く環境は、研究支援制度の拡充、化学業界における就職状況など考慮すると、良い状況になりつつあると感じています。一方、経済的負担が大きく、将来設計が困難な博士課程への進学は、依然高い壁があります。この人材育成プログラムの存在が、高い壁を緩和するものとして存在し続けるよう、今後の化学業界に貢献したいと思います。